庄内さくらんぼ通信

No.３　摘果作業

令和５年５月１０日
発行：庄内さくらんぼ
生産振興協議会

肥大のバラつき大！摘果は結実を確認してから開始！
被覆作業は遅れずに！

１．これまでの状況

（１）**開花・結実状況（鶴岡市西片屋）**

・満開期は「佐藤錦」が4/21（平年-7日）、「紅秀峰」が4/19（平年-6日）。
・開花期を二分するように降雨があり、**前半と後半で肥大は大きくバラつく！**

（２）**開花期以降の天候**

・高温はやや和らいだが、降雨が少なく、**土壌は乾燥気味**で経過している。

２．着果管理　：まず結実を見極めてから！

・実止まりは、園地・着果部位・品種によるバラつきが大きい。
・果実肥大のバラつきも大きく、特に短果枝の中でも肥大が異なる。

表　通常の摘果実施時期の目安

品種	満開後日数	残りやすい果実の横径
佐藤錦	15～17 日後	10～11mm以上
紅秀峰	14 日後	7mm以上

摘果後

・着果の多い樹や樹勢が弱い樹を優先して実施する。
・２～３果/短果枝程度を目安に実施し、樹勢に応じて調整する。
・成りすぎの部分は下向きの短果枝を中心に摘果する。
※摘果はスピード重視で効率的に！

３．その他

○ **果実肥大に重要な時期ですので積極的なかん水を！**
※満開 30 日頃までたっぷりと（灌水設備がない園地は樹冠下のみでも可）。
○ **灰星病対策：10 日おきを目安にしっかり薬剤散布！**
※薬剤が十分かかるような樹づくりに努めましょう。

「やまがた紅王」の摘果

○目安：**花束状短果枝当たり平均 1.5 果～２果未満**
○新梢基部や日当たりの良いところは、多めに着果させ、下枝や日当たりの悪いところでは少なめ着果させ樹全体でバランスがとれるように調整しましょう。
○果実同士が接していると、その部分は着色しにくく、着色ムラになります。果実と果実の間に空間ができるように摘果しましょう

摘果前

摘果後

摘果後は少なく見えても、
肥大すると十分な着果量です！

※肥大促進のために摘果が重要

【苗木の管理もお忘れなく！】

○着果していなくても、**かん水、日当たり確保**などの管理をしっかり行いましょう

○早期の収量確保と大玉生産のためには、苗木のうちから、良好な生育を確保することが大切です！

「やまがた紅王」出荷２年目です！
今年も適正な着果管理を行い、
大玉で着色が良く、おいしい
「やまがた紅王」を消費者に届けましょう！！

やまがた紅王

令和５年度山形県農作業事故防止啓発運動（5/13～）

休憩と水分の補給を十分に！
施設、器具等の点検整備！
作業は安全に落ち着いて！
動きやすい服、滑りにくい靴

お問合わせは最寄りの農協、農業技術普及課へ